

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.73	0.17
JPY/THB	0.2582	0.0011
USD/JPY	134.41	0.05
EUR/THB	36.53	-0.16
EUR/USD	1.0519	-0.0098
USD/CNH	6.730	0.029
SGD/THB	25.01	0.03
AUD/THB	24.45	-0.07
USD/INR	77.84	0.08
USD Index	104.15	0.92

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.463	0.001
10Y (THB)	2.929	0.001
5Y (USD)	3.259	0.195
10Y (USD)	3.156	0.114

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,871.5	22.7
WTI (Oil)	120.67	-0.84
Copper	9,447.5	-167.5

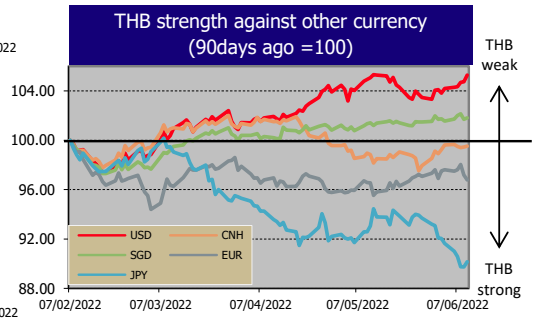
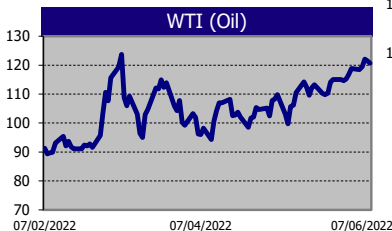
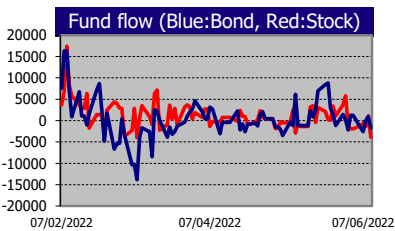
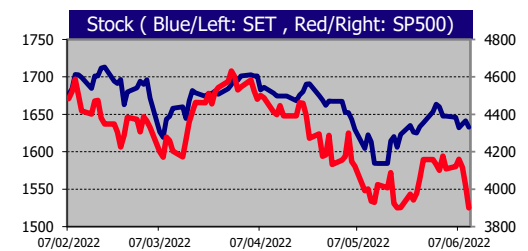
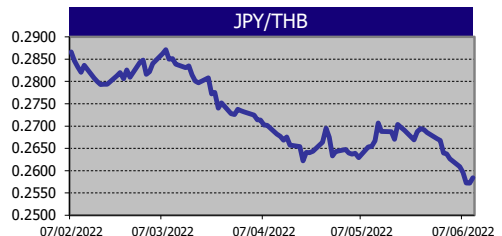
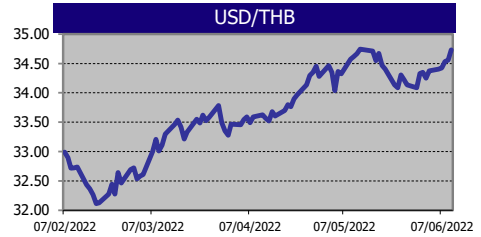
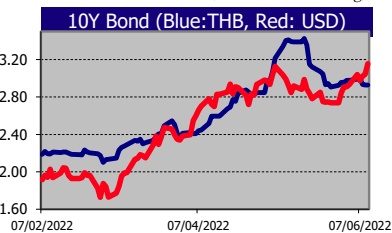
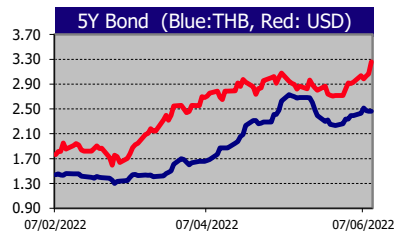
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,632.62	-8.72
NIKKEI (JP)	27,824.29	-422.24
DOW (US)	31,392.79	-880.00
S&P500 (US)	3,900.86	-116.96
SHCOMP (CN)	3,284.83	45.88
DAX(GER)	13,761.83	-436.97

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,860)	-4979.0
Bond net flow	(1,672)	-2651.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

10日のドルパーツは34半ばで取引を開始。朝方は米5月CPI発表を前に国内インフレの過大な進行懸念が再度意識されたためか、ドル高パーツ安の動きが続き、34半ば後半で海外時間へ。注目の米5月CPIが強い結果となってドル買いが一層強まると、同日ピークを付けて朝方から25サタンほど上昇した。しかし、その後は早いビッチで上昇した1週間だったために、調整が入り34.73レベルで越えた。

●ドル円その他

10日のドル円は134円半ばで取引を開始。5・10日だったために実需のドル売りに押されたほか、日銀・財務省・金融庁の3者会談が実施されるとのヘッドラインを受け、円安牽制への動きを警戒してかアジア時間終盤には133円半ばまで下落。しかし、米5月CPIが約40年ぶりの水準となり、米金利が大きく上昇。再び米利上げ継続が意識されてドル円は反発。前日終値とほぼ変わらない134.41へ上昇して引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週は、豪中銀の50bp幅利上げのサプライズに始まり、ECBでも7月の25bp利上げ、及び資産買い入れ停止が発表されて、各国中銀の金融引き締め姿勢が一層意識される中、米5月CPI発表を前にグローバルに金利が上昇しました。また、ロックダウンが解除されたばかりの上海では、多くの市民を対象にして大規模にコロナ検査が先週末実施されており、今後のビジネスへの影響を不安視してパーツをはじめ先週末のエマージング通貨は対ドルで軟調でした。加えて、米CPIも約40年ぶりの高水準を記録し、米金利上昇によるエマージング通貨安に追い打ちをかけています。今週のメインイベントはFOMCですが、先週末、FOMC直前に発表された強い米CPIをどうFRBが判断するのか、どう利上げのパスを描くのかによっては1ドル35パーツという水準も突破しようと思います。一方、相場が再び利上げを織り込んでいってそれほどFOMCがタカ派でなかったときには、一旦反動で調整が入ると予想します。(鈴木)